

『^わ環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成 17 年 10 月 4 日	
		作成部署	耕地課	
事業名	経営体育成基盤整備事業	構想番号	(農・耕) 構-17-1	
		地区名	かや 榎地区	
概算事業費	1,503百万円	事業期間	平成18年度～平成23年度	
事業概要	区画整理 A=60.4ha			
関連する公共事業	該当なし			
ガイドライン		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価
主要な評価の視点				
地球環境・自然環境	地球温暖化 (CO ₂ 排出量等) 地形・地質 物質循環 (土砂移動) 野生生物 ・絶滅危惧種 生態系 など	○府レッドデータブック「絶滅危惧種」のイチョウウキゴケ、「準絶滅危惧種」のタニガワスゲや「要注目種」のゲンジボタル、サワガニ、シマヘビ、イモリ、トノサマガエル、ツチガエルなどの生息が確認されている。	○水路の一部の現状保存、水路と水田の移動経路を確保するためのスロープの設置などにより、動植物の生息・生育環境への影響を低減する。 また、貴重植物について、場所の選定に十分注意し、未整備地域への移植を検討する。	△
生活環境	水環境・水循環 大気環境 土壌・地盤環境 騒音・振動 廃棄物・リサイクル 化学物質 粉塵 電磁波・電波・日照 など	○本梅川最上流部の良好な水環境を有する良質米の産地であり、適正な水循環と水質の維持を図る。	○現況地形に配慮した区画形状とすることにより、地下水を含めた水循環への影響を低減するほか、水路の一部を底張りしないことにより水質浄化機能の維持を図る。	△
地域個性・文化環境	景観 里山の保全 地域の文化資産 伝統的行祭事 地域住民との協働 など	○田畑だけでなく、地域の伝統的な祭なども含めた昔ながらの農村景観の維持を図る。	○集落間の交流や祭に古くから利用されてきた道路の位置に配慮した道路計画とする。	△
地域の環境像	本梅川上流の田園地帯で育まれた豊かな生態系や良好な水環境、古くから伝承されている地域の祭りなど、昔ながらの農村景観を将来にわたって維持する。			
特記事項	特記事項なし			

